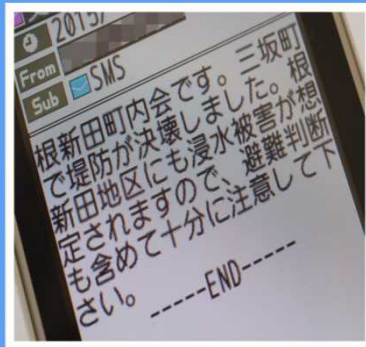


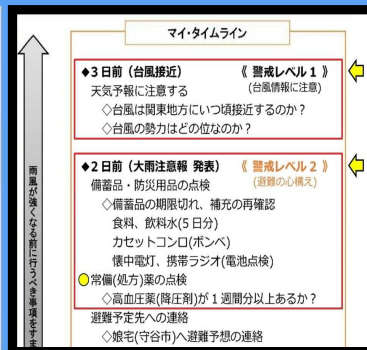
「地域コミュニティが命を救う」

災害犠牲者ゼロを目指した防災まちづくり

緊急時の情報共有



水害時の避難計画



震災時の安否確認



茨城県常総市中妻町 根新田町内会自主防災組織

プログラム

1. 関東・東北豪雨での被災状況と情報伝達

- 緊急時の情報共有
「SMS一斉送信システム」

2. 根新田町内会防災活動の紹介

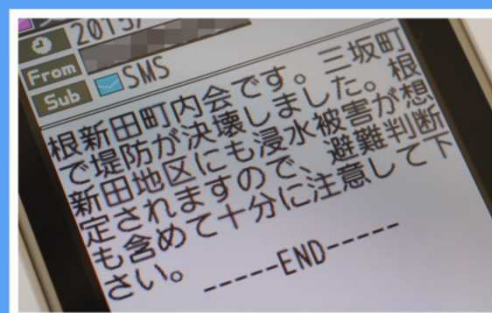
- 水害に備えた家族の避難行動計画
「マイ・タイムライン」
- 震災に備えた迅速な安否確認の仕組み
「無事ですタオルの活用」

3. 防災活動を支援する最新機材

緊急時の情報共有の取組

関東・東北豪雨災害で大活躍した

SMS一斉送信システム



常総市の概要

- 常総市は県の南西部にあり
- 鬼怒川、小貝川を有し昔は水運で繁栄した
- 根新田地区は、二つの川に挟まれた地域

常総市の位置





根新田地区の被災状況



根新田地区の90%が床上浸水
残りの家屋も床下浸水の被害
公民館も床上1mの浸水被害



根新田地区の被災状況

- 水が引くまでの
3日～5日間
- 住民は、親戚、知人宅、
避難所、自宅2階等に
避難した



事務局宅の駐車場と周辺

事務局(須賀)宅前の道路は、1m70cmの冠水を記録

当時の復旧活動 (浸水7日後～)



臨時に設置した災害対策本部



災害ボランティアの皆さん



被災者宅で活動するボランティアさん



支援物資の配布



ボランティアさんを被災者宅に送迎



民家の敷地に一時保管した災害廃棄物

決壊前から発災、復旧まで大活躍した 「SMS一斉送信システム」

鬼怒川の水位上昇
↓
決壊(避難喚起)
↓
地区の浸水状況
↓
帰宅の為の道路情報
↓
支援物資の入荷連絡
ボランティアの要請



今までの緊急連絡方法

「町民に、あく
知らせておくれ」

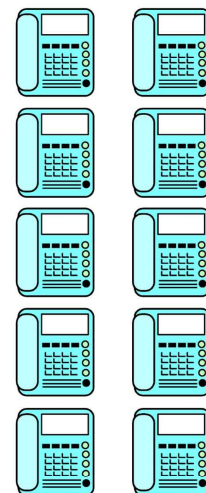


町内会長

「あ、はい、みんなに
あく電話します」



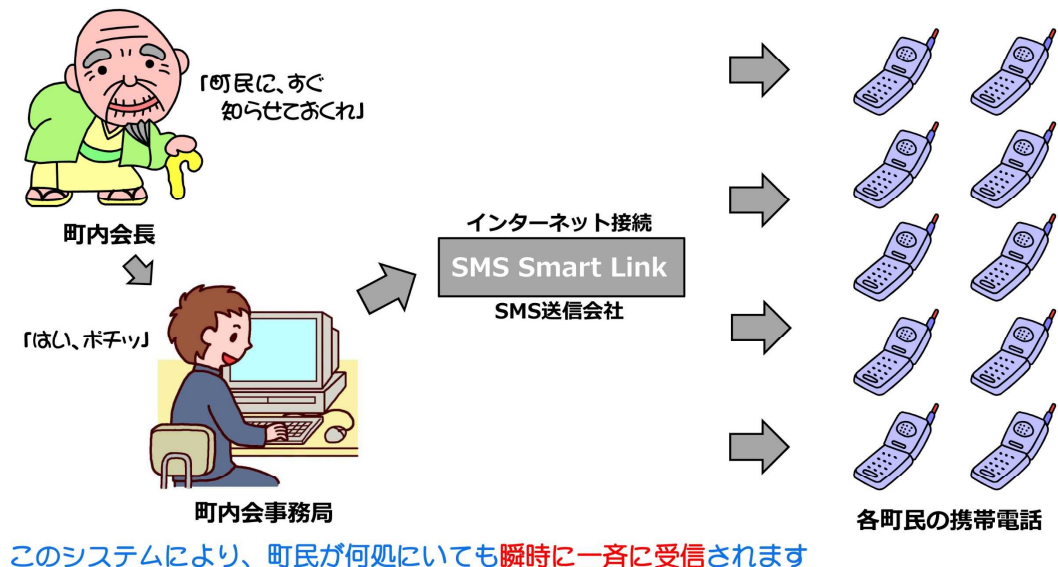
各班長さん



各世帯固定電話

班長さんが班内の世帯に1軒づつ電話か訪問で連絡していました

「SMS一斉送信システム」 2014.10月から運用開始



「SMS一斉送信システム」



1. 同時に何通でも送信出来る
2. 時間指定で予約送信も出来る
3. 携帯電話に届いたか個別に確認出来る
4. 携帯の電源を切っていても、入れれば着信する
5. ガラ携にでも、スマホにでも届く

ぜひ、ご活用ください

水害に備えた地域の取組

家族の避難行動計画

マイ・タイムライン



関東・東北豪雨災害での教訓

1. 誰も鬼怒川の堤防が決壊あるとは思っていなかった。
2. 6km上流で決壊したが、田畑への冠水だけで済むと思った。まして家の中までとは…。

ところが、地域の9割が床上、残いも床下浸水の大変な被害にない、水が引くまでの3日間家に閉じ込められた。



関東・東北豪雨災害での教訓

避難のタイミングを逸して、逃げ遅れた人が大勢いました。
常総市全体で **4258名が救助された**

「避難指示」も出ているのに、どうして逃げないのか？

「だいじょうぶだ〜😊」、という根拠の無い判断、と

「避難の計画(手順)」が無かったの
で右往左往しているうちに水が来た。😨



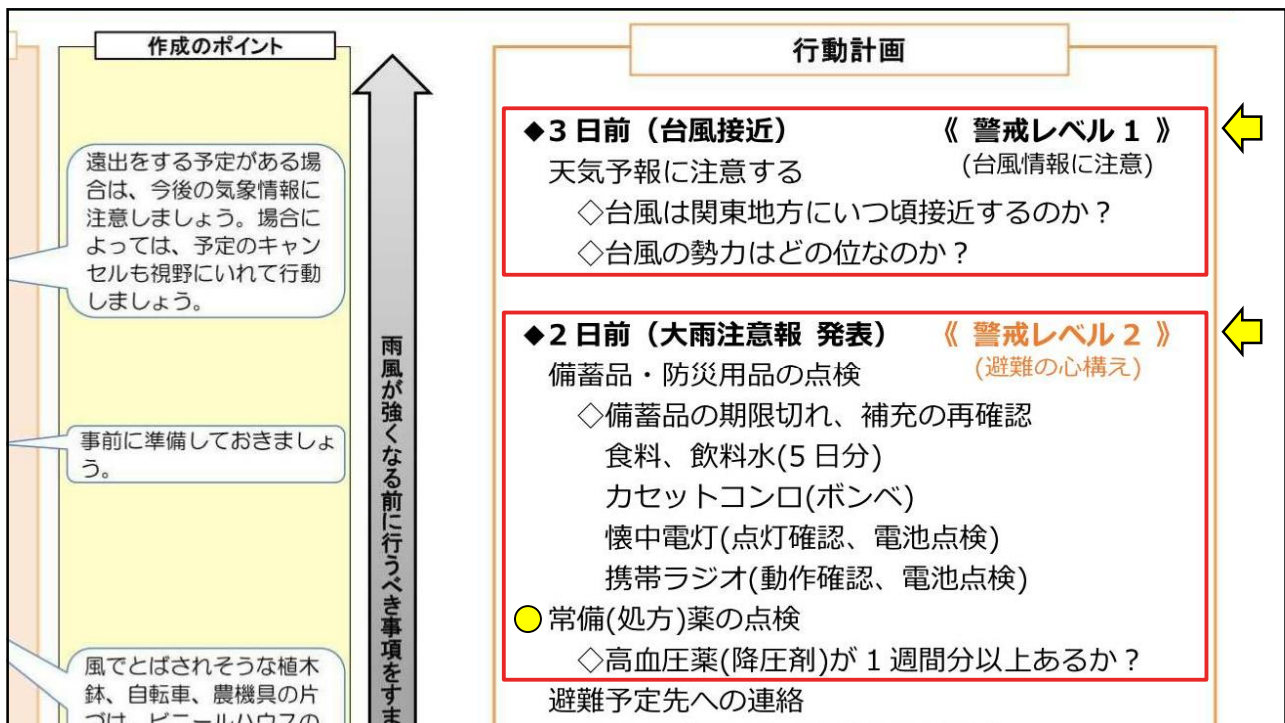
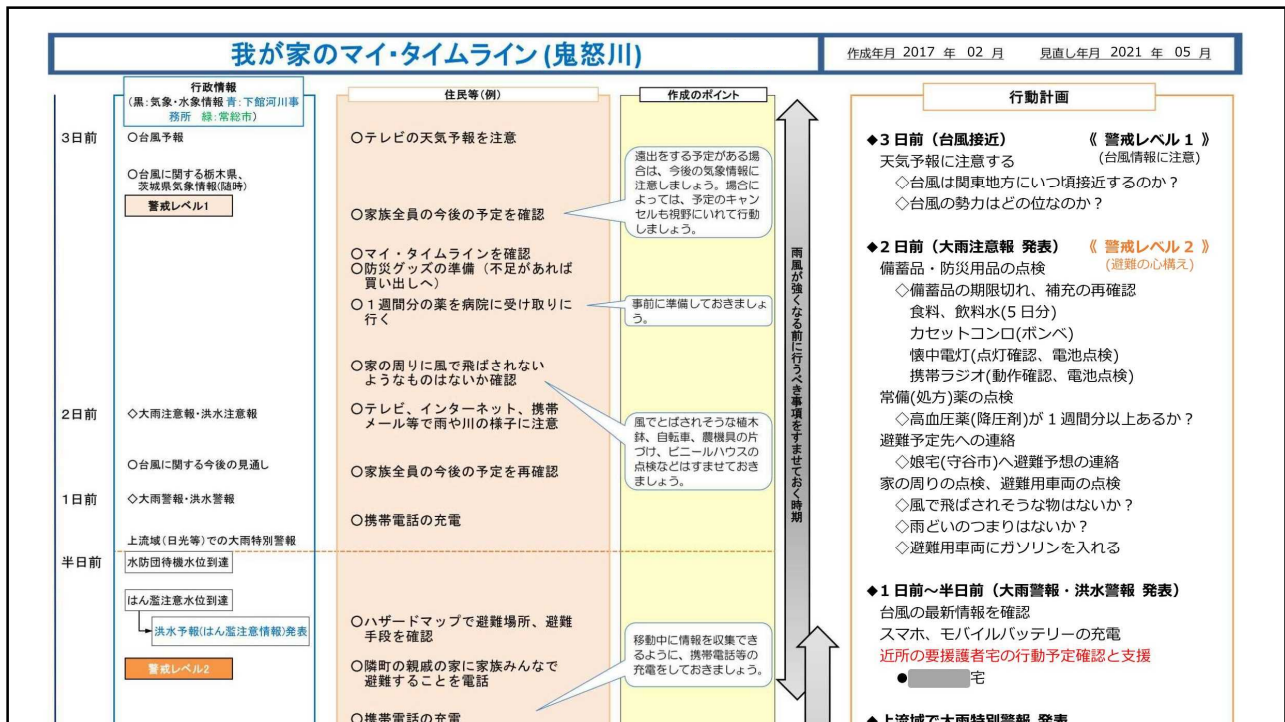
この様な

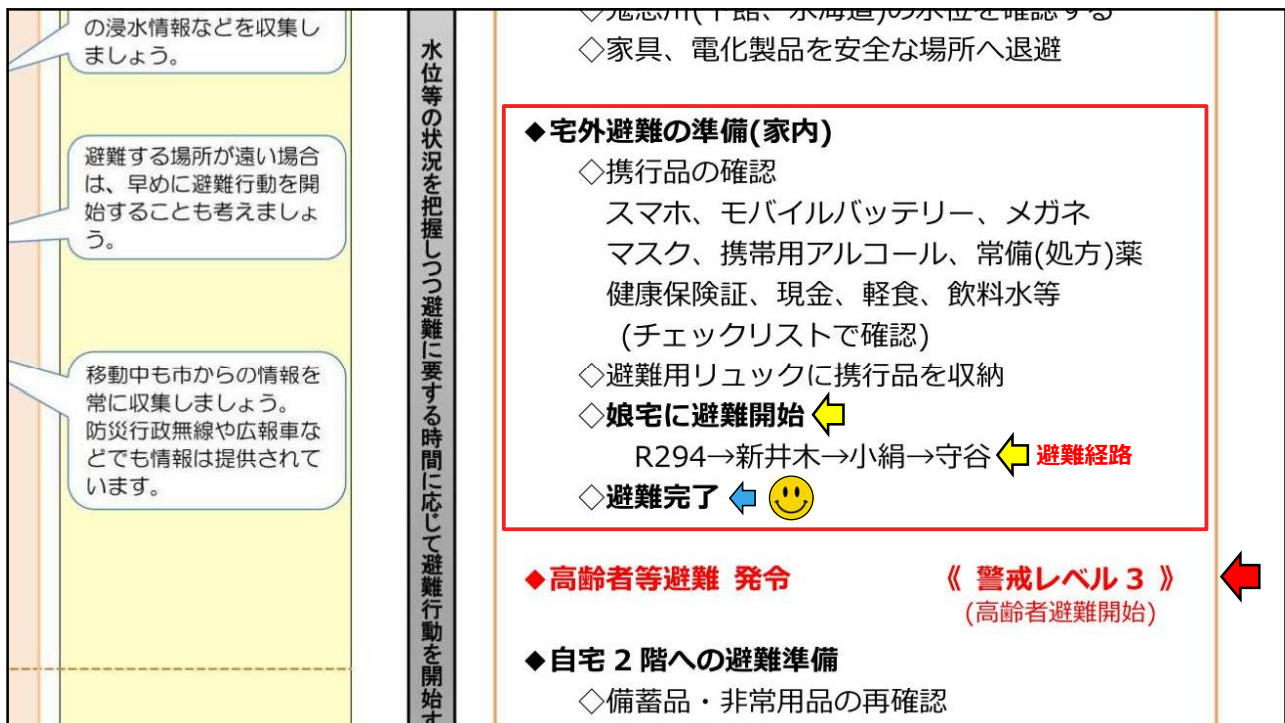
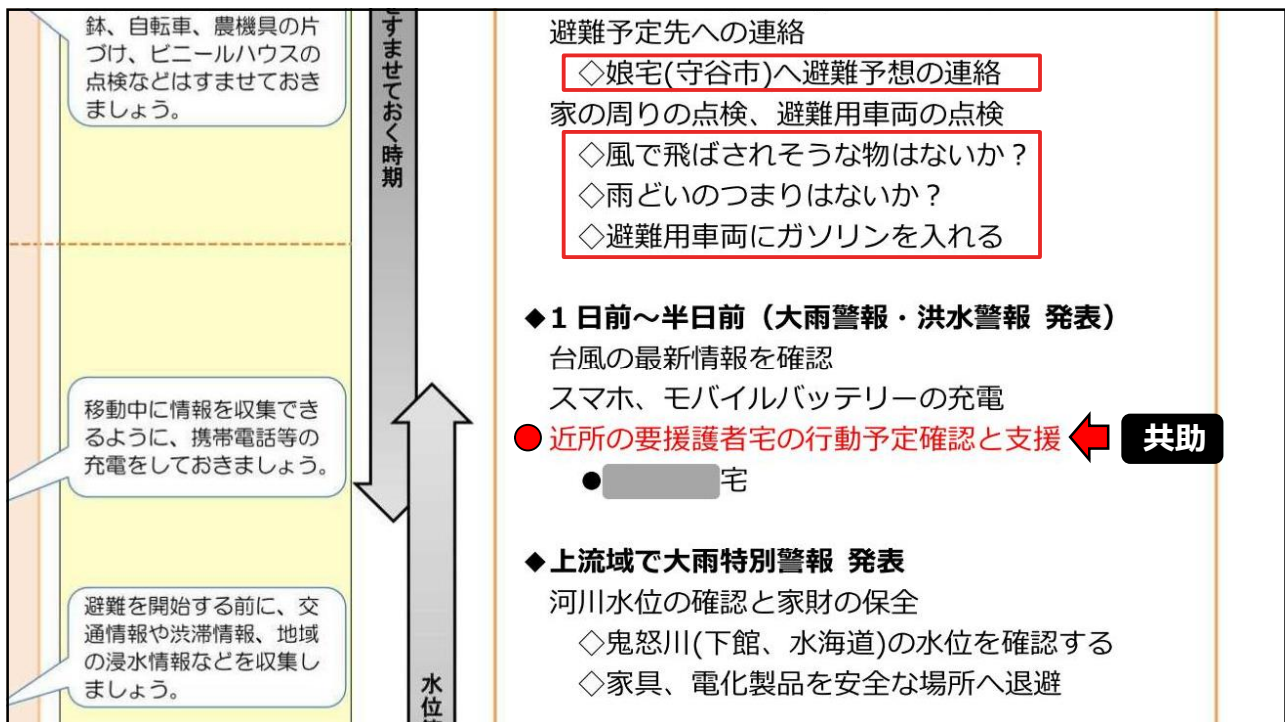
“逃げ遅れを防ぐ”

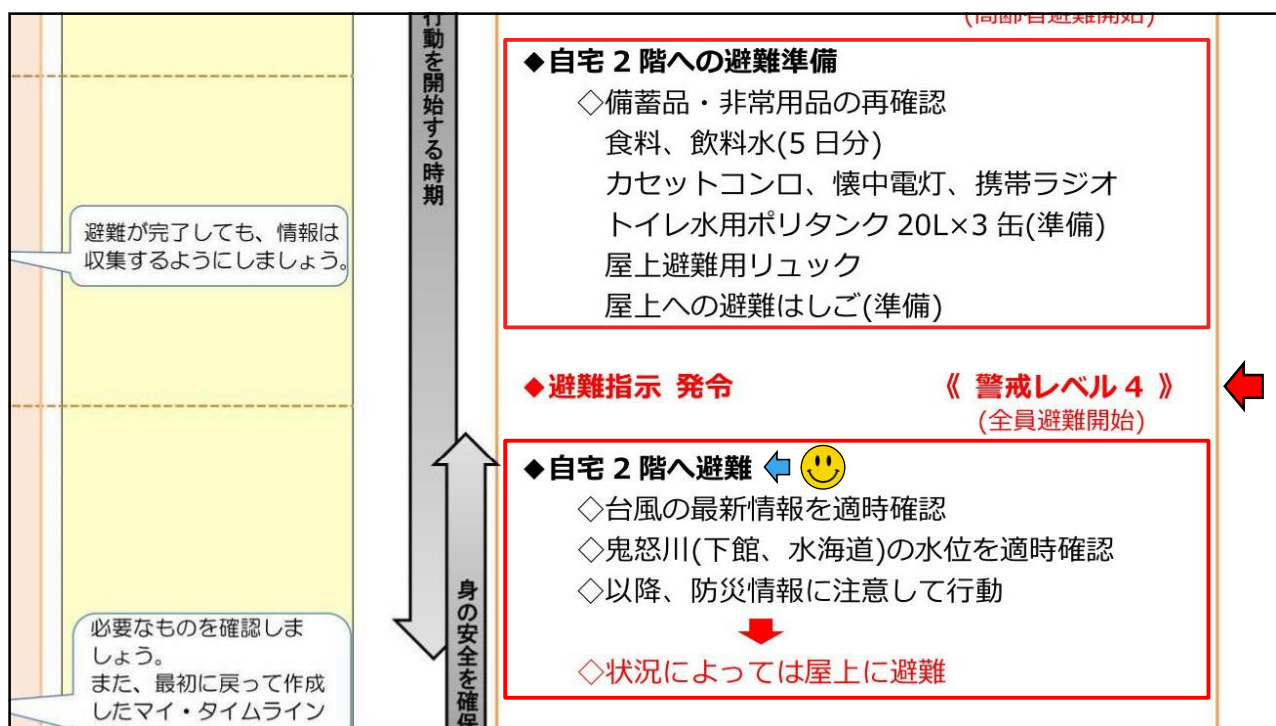
為に、考えだされたのが

水害時の避難行動計画
「マイ・タイムライン」









「マイ・タイムライン」が作れなくても、 これだけは事前準備しましょう!!

1. あらかじめ避難所と道順を決めておく。
2. 避難するタイミングを決めておく。
3. 避難時の持ち出し品を準備しておく。

食料、飲料、寝袋、処方薬、眼鏡、スマホ、充電器、マスク、携帯用アルコール、ティッシュ、タオル、体温計、健康保険証、筆記用具、現金(小銭)、懐中電灯、他

4. 避難車両のガソリンを補給しておく。





自助・共助の効果的な連携

1. 家族の避難計画の確認・実施
「マイ・タイムライン」で事前に確認

自助

災害犠牲者“ゼロ”を目指そう!!

町内会長
班 長
民生委員

2. 要支援者の行動確認・援助
台風の影響が出る前に避難計画を確認・支援

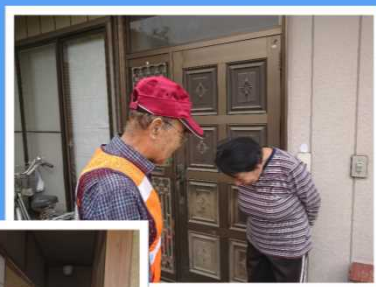
近所同士

共助

要支援者の行動確認・援助

台風の影響が出る前に行動予定を確認・支援

共助

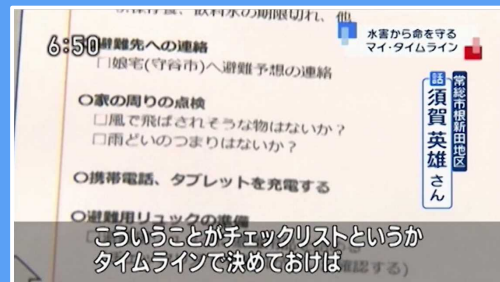
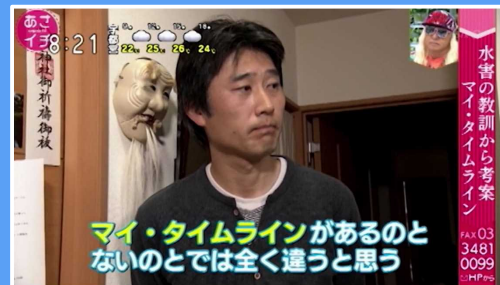
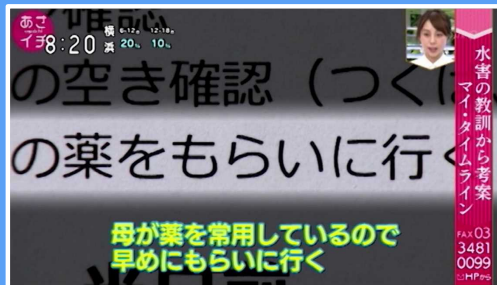


どんな行動予定なのか？
子供や孫たちとの連絡は？
支援する事はないですか？
場合によっては同行避難？

地域の防災インフルエンサーの活躍

地域で要支援者を見守って行く事が大切

「マイ・タイムライン」についての報道



「2018.6.21 NHKあさイチ」・「2017.11.29 NHKとちぎ640」

～災害を自らの事として考える～ (水害)

- ハザードマップが配布されたのに
見ようもしない !!
- 行政が避難指示を出してくれるので
それまでは安心だ !!
- 避難所に行けば何でもあるので
避難用品は用意しない !!
- 避難指示が空振りしたら、
行政に苦情を言う !!

個人の意識(自助)が欠落すると、防災・減災は成り立たない

震災に備えた地域の取組

生死を分ける・迅速な安否確認

無事ですタオルの活用



大地震が発生したら

- 1.地震はいつ発生するか予測が付かない。
- 2.町内会長も役員も地区内にいないかも知れない。
- 3.道路は寸断、通信網も遮断されるかも知れない。
- 4.災害発生時に町内に居る人達だけで
安否確認、負傷者の救助、初期消火等を
実行する以外に他に方法はない。
- 5.自分や家族が要救助者にならない保証も無い。
- 6.無関心だと、近所の「助かる命も、助からない」



近所同士の助け合いが必要(近助・共助)

自助・共助の効果的な連携



1. 自分自身の安全を確保する
自分が助からなければ人を助けられない

町内会長

前期班長
現 班 長
次期班長

災害犠牲者“ゼロ”を目指そう!!

全員で近
隣を確認

2. 隣接世帯の安否確認と救助
班内に「負傷者はいないか？」を確認

「無事ですタオル」で、安否確認

無事です

災害時ご家族が無事の場合
玄関先に吊るしてください

ぼうさいねしんでん
根新田自主防災組織



「無事ですタオル」があれば…

「無事ですタオル」が掲示されていない
世帯だけ確認すればいいので町内の安
否確認が素早く出来る

玄関付近に準備して、突然の地震に備える



表面

《大地震発生時の安否確認方法》

2022.11 改定

大地震発生時には、町内(市内)にいる人だけで自主的に安
否確認や救助をお願いします!!

1. 「自分自身や家族の安全を確保」します

2. 「使用中の火気の停止」をします

3. 「無事ですタオル」を掲げます

安否確認が最終確認するまで使用して置いて下さい。(約3時間)

4. 自分のブロック内世帯の安否確認をお願いします

町内に負傷者がいるかも知れません。避難所に避難して親しい安否確認をお願いします。

5. 要救助者がいたら、近隣世帯で救助をお願いします

事務局(表裏)携帯番号 090-2425-0000

緊急の場合は「はつとメール」で町内に救助の要等を発信します。

6. 班長(防災委員)は、班内世帯の最終安否確認をお願いします
(班別安否確認名簿での確認・記入をお願いします)
《安否確認結果を区長または事務局携帯に連絡して下さい》

「近所同士の助け合い」にご協力をお願いします



裏面

災害時安否確認カード (3班-1)

《根新田自主防災組織》

2022.11 改訂

ブロック	世帯名
3-1	6
3-2	7
3-3	5

この確認カードは、裏面をコピーしてください。

班内世帯の最終安否確認をお願いします。

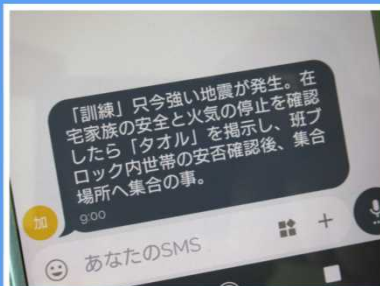
班別安否確認名簿での確認・記入をお願いします。

《安否確認結果を区長または事務局携帯に連絡して下さい》

ドアノブ、ポスト、フェンスなどに掲示



「無事ですタオル」を使った実際の安否確認訓練



安否確認訓練 (役員巡回再確認)



女性防災リーダーの活躍

細やかな女性の特性を、自主防災活動に生かそう
女性パワーが地域を救う

男女の
連携プレイ



災害犠牲者
"ゼロ"

- 平時の要援護者への声掛け・支援
- 発災時の町民の安否確認

「救助・救援」は、男達の出番

～災害を自らの事として考える～ (地震)

- 家具の転倒や落下物等の安全対策は？
- 食料・飲料水等、一週間程度の備蓄は？
- カセットコンロ等の簡易炊事用品の準備は？
- 懐中電灯、ランタン等の照明や停電対策は？
- 簡易トイレ、寝袋、宿泊用テント等の準備は？
- 車のガソリンは常に半分以上ありますか？

個人の意識(自助)が欠落すると、防災・減災は成り立たない

災害時のトイレ対策



簡易テント



簡易トイレ(折りたたみ式)



中敷きの袋(20枚)

- 大地震が起きると水道が止まり、水洗トイレが使えなくなる!!
- 飲み物や食べ物は我慢出来るが、トイレは我慢出来ない!!
- 食料や飲料水の備蓄も大切ですが、簡易トイレは絶対に必要!!

救急救命講習 (町内全世帯対象)



日本赤十字社の協力で開催



防災活動を支援する資機材

必要最低限の救出機材と最新設備

防災カメラ・太陽光蓄電・ドローン



防災倉庫に格納した救出用機材



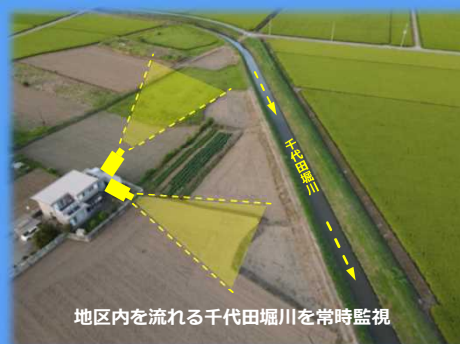
- 発電機、LED大型照明、担架、車椅子、折りたたみリヤカー等
- 救援隊が到着するまでの最低限の救出機材を準備



防災用ライブカメラ（2017.1月 運用開始）



- 平常時は、30分間隔
- 大雨警報時は、5分間隔で、根新田町内会のホームページに映像をアップしています



長期停電時充電スポット（2019.10月 運用開始）



- 太陽光パネル発電量 DC400W
- 最大出力 AC100V-700W
- 蓄電バッテリー装備で、
昼夜の使用が可能



災害用空撮ドローン（2020.10月 運用開始）

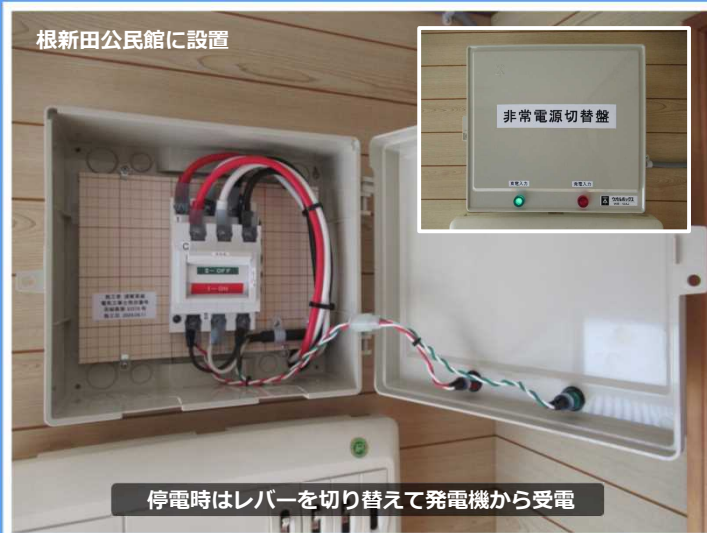


- 災害発生時の被災状況確認
- 水害時の逃げ遅れ者の発見
- 高所危険部の雨どい等の点検
- 屋根被災時の罹災証明写真撮影



長期停電時非常電源切替装置（2024.4月 運用開始）

根新田公民館に設置



停電時はレバーを切り替えて発電機から受電

- 公民館内で必要な照明、テレビ、冷蔵庫、エアコン等の電力は全て発電機で賄える
- 公民館1.5kW、発電機2.5kW



2.5kwのインバータ式発電機

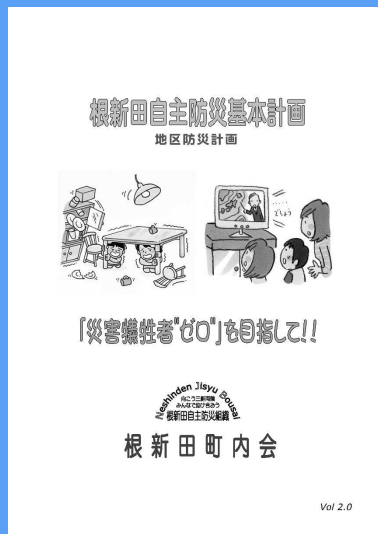
根新田自主防災組織をリードする防災士



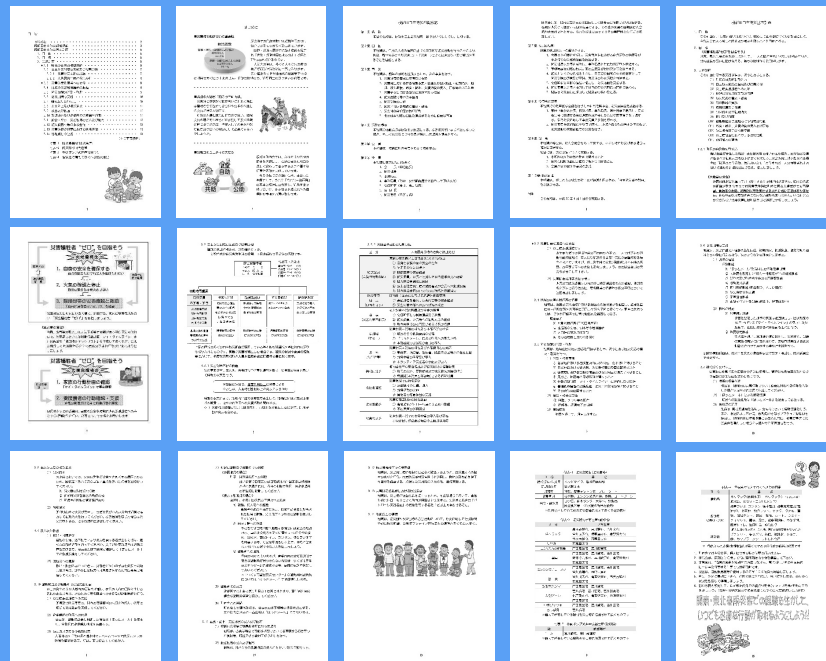
根新田総合防災訓練



「根新田自主防災基本計画」



「地区防災計画」

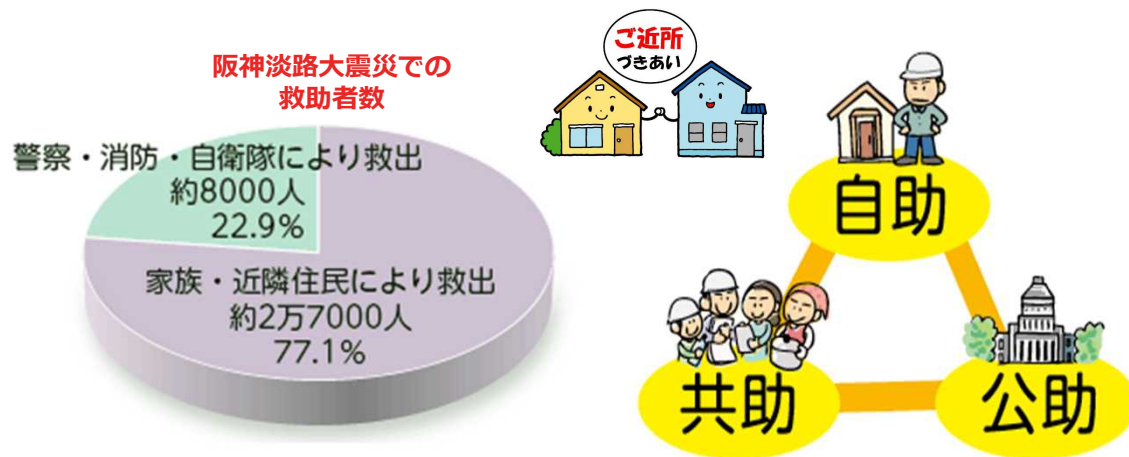


シンプルな「地区防災計画」を作る

1. 地域の災害リスクを調べ（地震・水害_他）
2. 平常時、発災時の活動の仕組みを作り、
3. 仕組み通り実施（訓練）してみる
4. 見直し、改善する（PDCA）

防災・減災に本当に必要な活動を決め、発災時に備える

地域コミュニティの大切さ (近助・共助)



共助の原点は、まさに「向こう三軒両隣」

地域コミュニティ活動・地区防災活動受賞歴

- 2018.11
あしたのまち・くらしづくり活動賞 主催者賞
- 2019.03
第23回防災まちづくり大賞 総務大臣賞
- 2019.09
令和元年度防災功労者内閣総理大臣表彰
- 2020.06
第22回日本水大賞グランプリ

根新田町内会のホームページ

「わがまちねしんでん」 では

<http://neshinden.com>

様々な活動を紹介しています

ぜひご覧ください

ご清聴ありがとうございました